

第 81 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社への追加質問及び回答
(第一種指定電気通信設備に係る接続関連システム経費の適正性に関するヒア
リング関係)

問 システム開発費について、今回のNTT東日本・西日本の対応については評価できる内容もあったが、プレゼンで示された考えに基づき、具体的にどのように運用していくかが重要と考えている。具体的な運用について、透明性の確保を担保するにあたり、特に、どのようなことが重要と考えられるか、ご意見を伺いたい。

(佐藤構成員)

(SNC回答)

- NTT東日本・西日本殿におかれては、接続関連システム経費の適正性・透明性を高めるための追加的な情報開示についてご検討いただき感謝いたします。具体的な運用において透明性の確保を担保するためには、以下のような取組が重要になると認識しています。
- 弊社からは、「各要望に対して改修が必要な機能数」及び「各機能の改修に必要な工数(具体的な人月単位の工数を開示できなければ、開発期間と体制だけでも可)」の2点を開示いただき、事業者側で開発費の妥当性を検証できるようにすることを提案したところです。後者については、委託先ベンダーの経営情報に該当すること等から開示は困難とのお考えと認識していますが、システム経費に関する透明性を担保する観点からは、少なくとも、機能ごとの開発規模、工数等の妥当性について、NTT東西殿による検証の結果をご説明いただくことが必要と考えます。
- また、弊社からは、追加的な情報開示に加えて、システム経費の低廉化に向けてNTT東西殿から委託先ベンダー殿と交渉を行っていただくようお願いしましたが、その取組に関する透明性を担保するため、どのような交渉が行われ、どのような結果となったのか、案件ごとに具体的にご説明いただくことが重要と考えます。さらに、その内容については、毎年接続料の認可申請において、NTT東西殿から総務省殿に対し、交渉の状況や結果をご説明いただく(接続料の低減策として総務省殿の申請説明資料で公表する)ことが適切と考えます。

以上